



# 木曽川下流自然観察会

テーマ 「川の中をのぞいてみよう」

日時 2015年9月9日(日) 19:30~12:00(晴)

参加者 一般:2名(うち子ども1名) 指導員:3名

余りの暑さのせいでしょう、ふだん土日には賑わう138タワーパークの駐車場に止まっている車もまばらです。早いところではお盆休みも始まり、家族そろってお出かけということもあつてか、参加者は5名と少なめでした。

色づき始めているコブシの実を見て、河原に向かうと、先月刈り取られてほとんど見られなくなっていたアメリカネナシカズラが復活していました。種子から発芽したのか、わずかに残った植物体が伸びたものか話題になりましたが、いずれにせよ強い生命力です。河原にはまだカワラサイコの黄色の花が残っていました。

こんな暑い時は、水の中が快適です。木曽川の南派川に入って、どんな生きものがあるかガサガサをしてみました。適度な流れで、他にも家族でタモを持って川の中に入っているグループもいました。ここは、昨年、あいち自然ネットの事業「おもしろ自然体験」を実施し、ヌマエビやヨシノボリなどが採れたところです。石の表面には藻類が付着して滑りやすいので、転倒しないよう気をつけて、タモで探りました。川岸近くのヨシの根元付近では、ヌマエビがたくさん採れ、川底の小石の間ではヨシノボリの仲間が採れました。他にもモツゴ、アメリカザリガニ、コオニヤンマのヤゴ、カゲロウの幼虫、トビケラの幼虫、イシビルの仲間などが採れました。流れのある所は水質階級Ⅱ(ややきれいな水)に該当すると見込まれますが、川岸付近のヨシが生えている辺りは水が滞留し、淀んでいるのでアメリカザリガニのような水質階級Ⅳ(たいへん汚い水)にすむ指標生物も見られました。

ガサガサをしている岸付近ではハグロトンボが翅を休め、川の上をウスバキトンボが風に乗って漂い、時折ギンヤンマが飛翔していきました。

ガサガサで時間がかかった分、いつものコースを少しショートカットして大野極楽寺公園との境界を通って林の中へ移動しました。ここにはヤブミョウガやベニバナボロギクが咲いていました。

138タワーパークの中の「もくもくパラダイス」では、ちょっと変わった植物の分布が見られます。キキョウやオミナエシは植栽されたものと思われるが、在来のヌスビトハギと外来のアレチヌスビトハギが混在しています。ヌスビトハギの方が早く咲くので、すでに実も見られました。ほかに、ダイコンソウやヌスビトハギを巨大にしたようなフジカンゾウの花も咲いていました。この辺りではあまり見かけない植物で、どうしてここに生えているのか興味津々です。(報告 齋竹)

<その他観察できたもの>

鳥: チョウゲンボウ、キジバト、ツバメ、ヒヨドリ、モズ(声)、ムクドリ、ハシボソガラス 昆虫: シオカラトンボ、マユタテアカネ、チョウトンボ、アブラゼミ、クマゼミ(声)、ニイニイゼミ(声)、ベッコウハゴロモ、ナミアゲハ、ツマグロヒョウモン、サトキマダラヒカゲ、キタキチョウ、ウラギンシジミ、ツバメシジミ 花: フタバムグラ、クズ、ブタナ、アレチハナガサ、ハマクマツヅラ、コニシキソウ



(観察会のようす)



(トビケラの幼虫)



(オオブタクサの茎にいたベッコウハゴロモ)